

平成21年度農村環境保全優良活動コンクール知事賞受賞団体の紹介

てんじんのしんかんきょうほぜんきょうぎかい

○天神野新環境保全協議会(魚津市)

農業者72人、非農業者116人、農用地面積66ha

会員自らが種から育苗した芝(センチピートグラス)等を広範囲にわたって共同作業により計画的に植栽し、地域の景観形成に努めるとともに、畦畔や法面の草刈り労力の軽減や環境保全を図っている。



まつくらちくこすがぬましゅうらく

○松倉地区小菅沼集落(魚津市)

農業者12人、農用地面積11ha

棚田の法面等急斜面の除草にヤギを活用することにより危険作業の負担を軽減するとともに、地元小学生や都市住民の参加を得て、ヤギの飼育・繁殖や耕作放棄された棚田の復元・活用に取り組むなど、景観保全と地域の活性化を図っている。



くろだ かい

○黒田みどり会(富山市)

農業者62人、非農業者296人、農用地面積52ha

非農家が多い中、児童クラブと連携して写生会や講演会等の「ふるさと発見事業」を展開し、集落の歴史、土地改良施設の役割等の周知を図るとともに、年2回の環境整備日には、非農家を含む全世帯で江ざらいに取り組むなど、地域ぐるみでの共同活動の推進と環境保全を図っている。



しもいさわしげんほぜんかつどうそしき

○下井沢資源保全活動組織(富山市)

農業者35人、非農業者180人、農用地面積40ha

専門知識を要するゲート類の分解、調整等の保守点検を地元住民自ら実施するとともに、農業用水路を活用したビオトープ(トミヨ(希少生物)、ホタル、トンボ等が生息)の維持管理を通じ、地域の結束、環境の保全を図っている。



つばいけちゅうさんかんちくみあい

○坪池中山間地組合(氷見市)

農業者20人、非農業者3人、農用地面積15ha

耕作放棄地を復元し、栽培した山うど、みょうが、ふき等の直売所での販売や、東京の県アンテナショップ「いきいき富山館」での「はさがけ米(坪池の別倉米)」の販売等による販路の拡大や地域ブランド化に取り組むとともに、農業後継者育成のため、若者への農作業の継承等を行い、中山間地の活性化に取り組んでいる。



あらやしきちくのうそんかんきょうほぜんこうじょうすいしんきょうぎかい

○新屋敷地区農村環境保全向上推進協議会(砺波市)

農業者15人、非農業者44人、農用地面積25ha

会員自らが種から育成したポット苗(ヒメイワダレソウ)を非農家会員と協力して、地区内すべての排水路に植栽することにより、草刈り作業の負担を軽減するとともに、「環境ウォーキング」の実施など環境に関する意識の高揚を図っている。また、これらの活動を契機として、地域が一体となった集落営農組合を設立し、農業の振興を図っている。

